

武豊町緑のカーテンチャレンジ カーテン育て方マニュアル



☆はじめに・・・

●緑のカーテンってなに？

緑のカーテンは、夏の暑いときに日が当たる窓の外を、朝顔やゴーヤのような、つる性の植物でおおう自然のカーテンです。

夏の強い日ざしを和らげ、室温の上昇を抑えてくれます。

そして部屋が涼しくなることで、クーラーをつける時間を減らせたり、設定温度を高くできれば、電気代の節約や地球温暖化の防止につながります。

●どうして部屋が涼しくなるの？

そもそも窓の外を植物でおおうことになり、通常のカーテンと似たような遮光効果が生まれますので、日ざしを和らげ部屋を涼しくすることができます。

また植物には、根から吸い上げた水分を葉から水蒸気として蒸発させる作用があります。これを「蒸散作用」といいますが、その際に周りの熱も奪うため、緑のカーテンの周りの空気はひんやりとします。

この冷却効果によって、部屋が涼しくなるというわけです。

●楽しみながら育てましょう

植物を育てる楽しみも、緑のカーテンの魅力の1つです。緑のやわらかい光は心を穏やかにしてくれますし、花や実をつける植物なら、観賞や収穫の喜びも味わうことができます。自分なりの目的を見つけ、快適で地球にやさしい緑のカーテンを作っていきましょう。

(目的の一例)

観賞を楽しみたい人には	朝顔、フウセンカズラ、るこう草等
収穫を楽しみたい人には	ゴーヤ、きゅうり等
大きなカーテンを作りたい人には	ヘチマ、ゴーヤ等

☆準備するもの・・・

○種

園芸店やホームセンターなどで販売されていますので、自分の目的に合った種を選んでください。



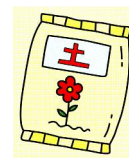
○苗

初めての人は苗から始めると簡単です。ゴーヤ、ヘチマ、朝顔などが一般的です。



○土（培養土）

植物にあったものを選びましょう。園芸土や腐葉土などを混ぜてみるといいでしょう。



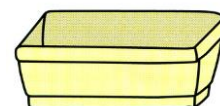
○ビニールポット

種から苗を育てるために使います。



○プランター

できるだけ容量の大きいものを用意しましょう。しっかりしたカーテンを作るにはできるだけ多くの土が必要になります。



○鉢底石

水はけを良くし、根腐れを防ぐため、プランターの底の部分に敷きます。



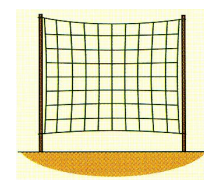
○肥料

元気に大きく育てるためには肥料が必要です。植えてから3～4週間後に肥料をあげ、その後は定期的に肥料をあげましょう。



○ネット・支柱

設置する場所に適したものを選びましょう。ネットは植物のつるが巻きつくためのものです。園芸用ネットやつる性植物栽培用ネットがあります。



○ロープ

ネットや支柱をとめるためのものです。

○スコップ・ジョーロ等



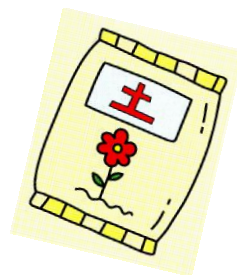
準備が整ったら、いよいよ緑のカーテンづくりの始まりです。

次ページ以降を参考にし、あなた好みのカーテン作りに挑戦してみてください！

緑のカーテンの作り方

①土をつくりましょう（4月頃～）

プランターの底に鉢底石を敷き、土をたっぷり入れます。土は園芸土や腐葉土を混ぜて作るといいでしょう。いろいろな土が販売されていますので、育てる植物に合ったものを選んでください。販売店の店員さんに相談してみましょう。



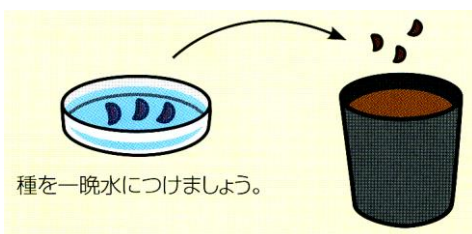
また、土に肥料を混ぜ合わせます。（これを“元肥”といいます）

油粕や牛糞などの有機肥料を施す場合には、2週間くらい前から混ぜ合わせなじませてください。肥料が苗や根に直接触れないよう均等に混ぜ合わせましょう！

②種をまきましょう（5月～6月頃）

※初めての人は苗からはじめると簡単です → ③へ

※育てる植物によって種付け時期が変わります



種を一晩水につけましょう。



ゴーヤの種は、先端をカットしましょう。

水を吸ってふくらんだ種を選ぶほうがいいでしょう！

ビニールポットに種を2～3粒まきましょう。種をまいたら、種がかくれるまで土をかぶせ、水をかけましょう。水やりは毎日しましょう。

雨水を貯めたり、お風呂の残り湯を使えば、より環境にやさしいね♪

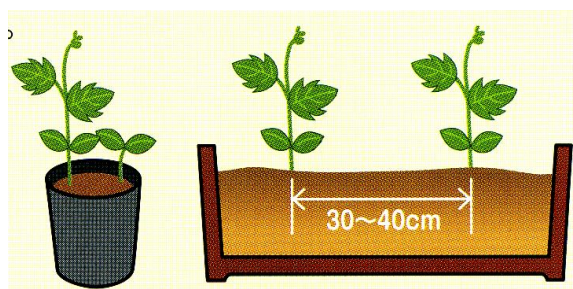


③苗を植えましょう（6月～7月頃）

※育てる植物によって時期が変わります

芽が出て、葉の数が4～5枚になったらプランターに植えかえましょう。

苗と苗の間は、30cm～40cmくらい離してください。



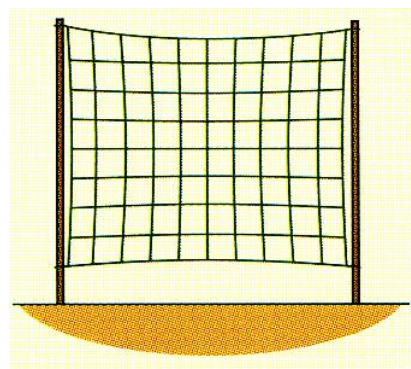
ポットからプランターへ

④支柱やネットの設置（6月頃～）

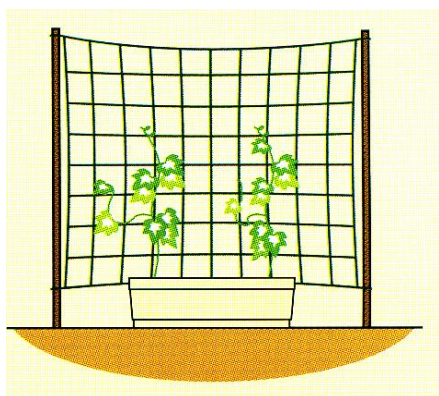
つるが伸びてきたら支柱やネットを設置します。ネットは、ベランダや手すりなどにピンと張ってしっかり結びつけましょう。

固定する場所がないときは、支柱を立てて枠を作るといいでしょう。

台風や強風で倒れたり、ネットが外れないよう、しっかり固定し、また、避難通路をふさがらないかなど、十分確認してください。



⑤つるの誘引（適宜）



ある程度つるが伸びたらネットに誘引し固定していきます。葉がネット全体に広がるようにバランスよく誘引します。

つるがネットに上手に巻きつかない時は、ビニールひもなどでネットに軽く結んであげましょう。

葉が茂ってきたら、適度に葉をカットして風通しを良くしましょう。

⑥肥料をあげましょう（6月頃～適宜）

土づくりのときにも肥料を入れましたが、生育にあわせて肥料を追加してください。

（これを“追肥”といいます）

その際、硬くなった土を軽くほぐしてあげましょう。ただし与えすぎには注意してください。

◆肥料の3要素◆

窒素（N）：葉や茎をつくる作用があります。

リン酸（P）：花や実を成らせる作用があります。

カリウム（K）：根を育てる作用があります。



【肥料の選び方】

緑のカーテンは日ざしを遮るために葉を多く、根を強く、花や実をしっかり育てる必要があるため、窒素・リン酸・カリウムがバランスよく入った肥料を選ぶほうがいいでしょう。

⑦花が咲いて、実がとれます（7月～9月頃）

※育てる植物によって時期が変わります



夏になると大きく育った緑のカーテンには、アサガオなどにはきれいな花が咲いて、ゴーヤやきゅうりなどは実が成ります。

見て楽しんで、収穫を楽しんで、味も楽しみましょう！

⑧後片付けと翌年の準備（9月頃～）

9月中下旬、夏が終わり、日中の日ざしが弱くなってきたら緑のカーテンづくりもおしまいです。後片付けをして、翌年のために種をとっておきましょう。

伸びたつるはネットからはずし、ネットはきれいにたたんでしまっておきましょう。

外したつるは、乾燥させて細かくきざむと堆肥にできます♪
環境課ではコンポストなどの堆肥化容器購入の補助金もありますので、ぜひご活用ください！



コンポスト

詳しくは、環境課までお問い合わせください！

【栽培スケジュール】

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
アサガオ	種まき			←→	←→				
	植える				←→	←→			
	成長					←→	←→	←→	
	開花						←→	←→	
ゴーヤ	種まき		←→						
	植える			←→	←→				
	成長				←→	←→	←→	←→	
	実の収穫					←→	←→	←→	

キュウリ、ヘチマ、ヒョウタンは4月頃に種をまきます。

◆問い合わせ先◆

武豊町生活経済部 環境課環境保全担当
〒470-2392 武豊町字長尾山2番地
TEL：0569-72-1111
E-mail：kankyo@town.taketoyo.lg.jp

